

平成19年第1回木津川市議会定例会 所信表明

◆はじめに

新生木津川市初めての議会となります、平成19年第1回木津川市議会臨時会の開会にあたりまして、市民の代表であります議員各位を前に、市政運営の所信の一端を申し述べる機会をいただきましたことに、心よりお礼を申し上げます。

去る4月22日に行われました市長選挙におきまして、18,708票という多くの市民の皆様のご負託を受けまして、木津川市の初代市長に就任いたしました河井規子でございます。

新生木津川市の礎を構築していかなければならないこの時期に、市政を預かるといふその職責の重さを考えますに、身の引き締まる思いでございます。

私の所信を申し上げる前に、まず、お詫びを申し上げます。先の統一地方選挙の市長・市議会議員選挙の開票事務に際しまして、議員各位をはじめ、関係の皆様にご多大なるご迷惑をおかけいたしました。行政委員会の事務とは申しまして、担当者は全て木津川市の職員でございます。

私は、木津川市の最高責任者として、遺憾の意を表しますとともに、皆様方に深くお詫びを申し上げます。

今後におきましては、原因並びに善後策をきちんと整理するとともに、あらゆる行政事務につきまして、市民の皆様にご迷惑がかからないよう、職員の研修を始めといたしまして、意識改革に、私が先頭となり取り組んでまいり覚悟でございますので、ご寛容賜りますよう、重ねてお詫びとお願いを申し上げます。

◆自治体を取り巻く環境

さて、現在の地方自治体を取り巻く環境は大きな転換期を迎えているといっても過言ではありません。地方自治体は分権の担い手として、必要とされる行政体制の確立と能力の向上に努め、自主的・主体的なまちづくりを推進していかなければなりません。地方分権の有効な手段の一つである市町村合併を3町で推し進めたことによりまして、新たに木津川市が誕生したところでございますが、これからも私たちの行革に対する取り組みは続きます。この度の3町合併により、時代の転換期を乗り越える基礎的な体力を得ることができました。市民皆様の元気がまちの元気に、まちの元気が国の元気につながることを信じ、木津川市の舵取りを担っていきたいと考えております。

◆ 市政に取り組む決意

私は、最先端の科学技術やロマンあふれる文化財、豊かな自然や里山のある木津川市に大きな魅力を感じております。

学研都市として、文化財の宝庫として、更には豊かな自然が共生する木津川市に誇りを感じておりますし、このように、すばらしいそれぞれのまちを築いてこられました歴代の町長や議会議員の皆様を始めといたしまして、広く市政にご尽力いただきました多くの皆様に深く敬意を表し、感謝しているところでございます。

この大好きな木津川市に、できるだけ多くの人に住んでいただきたい、また、できるだけ多くの人に住み続けていただきたい、更には、できるだけ多くの企業に進出していただきたいと願っております。

そのためには、先人から脈々と受け継がれてきました旧 3 町の輝かしい歴史や文化、伝統を大切にしながら、しっかりとした財政基盤が構築され、かつ、市民の目線で開かれた行政を進めていかなければなりません。

この選挙期間中、そしてまた、合併協議中に様々なご意見を伺いました。これらのご意見も反映できるところは市政に反映させていただくことで、市民の皆様が木津川市に誇りを感じ、郷土愛を育むことができるすばらしい地域社会を創ってまいりたいと考えているところでございます。

私は、特定の政党や政策集団、更には団体や個人のための市政を進める気持ちは一切ございません。

私の政治理念でありますクリーンで誠実な心のかよった市政を実行するため、すばらしい木津川市を子や孫の世代に健全な状態で引き継いでいくため、選挙期間中新しい市や市民の皆様にご約束いたしました各項目の実現のため、更には山積している課題の解決に向けまして、全身全霊で取り組む覚悟でございますので、議員各位並びに市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 市政運営の基本的な考え方

私の任期中におけます市政運営の基本的な考え方につきまして、申し上げたいと思います。

市政を運営するに当たりましては、次の 7 点の項目を常に意識しながら進めてまいりたいと考えております。

1 点目は、旧 3 町の融合を常に意識しながら、この度の合併がより大きな効果となつて、市民の皆様にご実感していただけるよう努力をしております。

2 点目は、常に財政面への配慮をしております。

- 3点目は、市民参画、市民協働のまちづくりを進めてまいります。
- 4点目は、市民の目線に立った施策を展開してまいります。
- 5点目は、既に活発化しております自治体間競争に勝ち残られるよう最大限の努力をしてまいります。
- 6点目は、あらゆる機会におきまして、開かれた行政を進めてまいります。
- 7点目は、環境への配慮をしてまいります。
- 以上の7点を、常に意識しながら、市政を進めてまいりたいと考えております。

◆施策の基本的な考え方

議員各位もご承知のとおり、福祉とは、すべての人が常に健康で文化的な生活を営む権利を、国や自治体はもとより、社会全体が保障する制度でございます。改めて申し上げるまでもなく、我が国は急速な少子高齢化、人口減少時代に突入いたしました。このような中、福祉の分野におきましても、従来型の画一的な手当での支給や、施設の整備といった手法は、既に限界に達しているのではないかと考えているところでございます。

従いまして、今後の福祉行政を展望いたしますに、もっと人間らしいかわり方を模索する中で、福祉施策の展望を見出していかなければならないと考えているところでございます。

このことは、福祉の分野のみならず、行政全般に対しましても同様であると考えております。

木津川市は、私たちの世代の為だけにあるのではございません。

このすばらしい木津川市を、ふるさとに誇りを感じ、郷土愛を育むことができる素晴らしい地域社会として、明日を担う子どもたちに健全な状態で引き継ぐことができるよう、私たちは、時には痛みを耐えることも覚悟しなければならないと考えているところでございます。

昨今の社会情勢は、激変の中にあります。

情報化の急速な進展と国際化によるボーダレス社会の到来、地球環境問題の深刻化、また、我が国の経済は、企業収益の改善が個人消費の増加に波及しており、民間主導により景気は緩やかに回復に向かってきておりますが、地域経済におきましては、明るい兆しが見えつつも、景気の回復が実感できるまでには至っておらず、先行きへの不安を拭いきれない状況が続いております。

一方、私たち地方自治体におきましても、これら社会情勢の変化を背景に、三位一体の構造改革や社会保障制度の変化への的確な対応が求められているところでございます。

この対応策の一つに『時のアセスメント』という手法がございます。

議員各位におかれましては既にご承知のこととは存じますが、この手法とは、変革の時代の中で、時の経過によって、施策が必要とされた社会状況や住民要望などが大きく変化し、施策に対する当初の役割や効果について、改めて点検・評価を加える必要があるものについては、現状を踏まえ、多角的、多面的な視点から検討を行い、時代の変化に対応しようとするものでございます。

この「時のアセスメント」を取り入れることにより、更なる行財政改革を進めながら、柔軟に市政を進めてまいりたいと考えております。

◆終わりに

以上、市政運営につきまして、私の所信を申し述べさせていただきました。

具体的な施策につきましては、次の定例会におきまして、施政方針を述べさせていただきますと存じます。

私は、木津町議会議員に初当選以来、多くの皆様に支えていただき今日までまいりました。生まれ育った木津が大好きで、新たに生まれた木津川市が大好きで、新しい市の舵取り役を担わせていただくことになりましたが、今後は、木津川市に住む皆様、木津川市にて仕事をする皆様と共に新しいまちの基礎づくりを進めていきたいと考えております。

新生木津川市には、清掃センターの建設を始めといたしまして、税や公共料金、更には住民サービスの一部におきまして合併協議で一元化されていない項目があり、新市の中で決めていかなければなりません。

私は、木津川市職員 510 人のリーダーとして、自らがその先頭に立ち、新生木津川市のため、これら課題の解決に向けましても全身全霊取り組む覚悟でございます。

議員各位並びに市民の皆様におかれましては、私の木津川市に対する熱い思いをお汲み取り頂き、今後の市政運営に関しまして格段のご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、市長就任の所信表明とさせていただきます。

ありがとうございました。